

みどりの杜俳句会



山裾に初めて知るや露のたう	佐山けさ子
露のたう刻み生味噌和へとせり	飯野はつ志
山道に座し枇杷の花良き香り	木本 弘子
夕空の寒茜雲速く飛ぶ	西 ツル
枇杷の花白とページュのやさしさう	今村千鶴子
山家庭八重水仙のひらきけり	落合 七郎
枇杷の花重なり固き葉の囿ふ	田村 好子
花の名を問へば満作黄の濃かり	吉田 愛子
満作や卒寿の友と皆で見る	梅澤きくえ
満作の花火の様に広ごれり	鈴木 啓子
山家表も裏も落葉の吹き溜り	高橋 ツ子
初雪やたちまち青菜畑真白	関口 侑子
大寒の日高動きのわづかかな	小宮 勉
絡みつき高き木に熟れ烏瓜	鯨井 和枝
霜降りて青菜の色の濃くなれり	岡部富美子
枝垂梅隙ない程に蕾付く	土屋 厚子
明け静寂破り除雪車門を過ぐ	初雁 功子
まんさくの花の縮れに命あり	梅澤 時江
水源の山へと梅林続きけり	山田 美子
たんぼの道辺に開き先は崖	野口利江子

人権シリーズ

「経験からの学びそして変化」

412

私は、中学入学時から軟式テニス部に入部し、部活動に取り組んできました。当時のテニス部は、とても厳しく、少しでもだらけていると走らされ、ラケットの縁でお尻を叩かれるという日々の繰り返しでした。

そんな三年間の部活動が終わり、高校は、スポーツ推薦で入学したためテニスを続けましたが、厳しい練習と時にはピンタされることもあり、耐えながら高校の部活動も終えました。大学のテニス部では、下級生いじめがあり、とてもテニスに打ち込む環境ではなかったため、気づいた時にはテニスが好きではなくなり、やらされている感覚になっていたと思います。

自分の部活動の思い出がそんな経験でしたので、子どもには、同じ思いはさせたくないと思っていました。

二人の息子は、小学生の時から野球を始めました。昔は、水もろくに飲ませてもらえず、ひたすら我慢をさせられました。今は、今ほこまめに水分補給をし、具合が悪くなればすぐに休憩を取り、体調に気を配りながら安心して練習ができます。厳しい練習の中でも指導者の方々には子どもたちとコミュニケーションを取り、野球の楽しさを教えていただきました。

時代の流れを感じつつ、戸惑いながらも息子たちの応援ができました。この経験は、私にとって宝物です。楽しそうに野球の話をしている息子たちを見ていると気持ちが悪われた思いになります。子どもたちとともにこの経験をさせていただいた、たくさんの方々にお礼申し上げます。

ありがとうございました。

社会福祉協議会 中村 真弓

アートの世界

田舎にはない風景を写真に収めたいと思い、夏の夜に鮮やかにライトアップされたスカイツリーを撮影しました。動くものを写真に取り入れることで違う見方ができるため、船が通りがかったところでシャッターを切りましたが、船の速度にシャッター速度を合わせるなど細かい工夫が必要です。一瞬を切り取るのは写真にしかできません。場面や被写体に合わせて調整しながら撮影するのは楽しいです。また、良い写真に仕上がると嬉しい気持ちになるので、そういったところにやりがいを感じますね。



「スカイツリー夜景」

撮影者 写友会

馬場 章さん (坂本)